

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 株式会社 藤商事 上場取引所 東
 コード番号 6257 URL <https://www.fujimarukun.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今山 武成
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 村上 和繁 TEL 06-6949-0323
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	8,476	△37.3	615	△84.2	710	△82.1	436	△83.7
2024年3月期第1四半期	13,523	145.7	3,887	—	3,965	—	2,681	833.7

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,133百万円 (△59.6%) 2024年3月期第1四半期 2,803百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	20.87	—
2024年3月期第1四半期	128.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	51,044	43,439	85.1
2024年3月期	51,344	42,941	83.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 43,439百万円 2024年3月期 42,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	25.00	—	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	0.0	5,000	2.4	5,000	1.5	3,700	1.5	177.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 当社は、年次で業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期1Q	22,895,500株	2024年3月期	24,395,500株
2025年3月期1Q	2,000,154株	2024年3月期	3,500,154株
2025年3月期1Q	20,895,346株	2024年3月期1Q	20,895,368株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2024年 8 月 8 日 (木) に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧米における高い金利水準の継続にともなう影響や中国経済の先行き懸念など海外景気の下振れリスクや物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分留意することが必要な状況にあるものの、雇用・所得環境が改善するもて各種政策の効果もあり、景気はこのところ足踏みもみられませんが緩やかに回復しております。

パチンコホール業界におきましては、のめりこみ防止や依存症対策の一環として、リカバリーサポート・ネットワークの啓発をはじめ、さまざまな施策を通じてファンの皆様がパチンコ・パチスロをより安心・安全に楽しめる環境づくりを推進しております。

遊技機業界におきましては、ゲーム性や遊技環境、セキュリティの向上およびのめり込み防止や感染防止対策の強化などに寄与するとされる「スマート遊技機」の普及促進が行われているなかで、パチスロ遊技機ではスマートパチスロが市場を牽引する形で稼働は回復しており、当社グループを含めたパチスロメーカー各社から発売される主要な機種が多くがスマートパチスロとして発売されております。パチンコ遊技機では新しい出玉の波を創出する機能「ラッキートリガー」を搭載した機種が市場投入され好調な稼働実績を残すタイトルもみられ、市場環境の活性化への期待が見込まれております。

また、パチンコ・パチスロ産業21世紀会からパチンコ・パチスロ産業全体の成長と発展を目指し、パチンコ産業のパーパス「遊びの力で、心を元気に。」を発表するなど、地域経済の活性化や社会貢献活動など社会全体に対して存在意義を示し、パチンコ業界の社会的地位向上を推進しております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、「ブランドの強化」と「経営基盤の強化」を最重点課題としたうえで、引き続き、市場トレンドの先端を行く機種開発に取り組み、お客様に支持される遊技機を安定的に供給することにより、販売台数の確保に努めております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、若年層向けのタイトルを中心にパチンコ遊技機を新たに2機種導入いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高84億76百万円（対前年同期比37.3%減）、営業利益6億15百万円（同84.2%減）、経常利益7億10百万円（同82.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億36百万円（同83.7%減）となりました。

※製品別の状況は次のとおりであります。

(パチンコ遊技機)

パチンコ遊技機につきましては、新規タイトルとして「P魔王学院の不適格者」（2024年5月発売）を市場投入し、前連結会計年度に発売した「P FAIRY TAIL これが七炎竜の力だ」が本格的に導入開始されました。また、前連結会計年度に発売したシリーズ機種などを継続販売いたしました。

以上の結果、販売台数は23千台（対前年同期比29.1%増）、売上高は84億75百万円（同33.3%増）となりました。

(パチスロ遊技機)

パチスロ遊技機につきましては、当第1四半期連結累計期間での新機種の発売はありませんでした。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は319億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億8百万円減少いたしました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が11億50百万円増加したことに対し、現金及び預金が19億66百万円、前渡金が4億88百万円減少したことによるものであります。固定資産は190億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億8百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が12億71百万円増加したことに対し、繰延税金資産が4億82百万円、長期前払費用が1億72百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は510億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億99百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は59億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億10百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が4億45百万円、買掛金が3億2百万円減少したことによるものであります。固定負債は16億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は76億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億98百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は434億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億98百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益4億36百万円、その他有価証券評価差額金の増加7億49百万円および剰余金の配当6億26百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は85.1%（前連結会計年度末は83.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,133	18,166
受取手形、売掛金及び契約資産	4,188	5,339
商品及び製品	16	146
原材料及び貯蔵品	6,729	6,837
前渡金	1,645	1,156
未収還付法人税等	50	50
その他	359	416
貸倒引当金	△138	△137
流動資産合計	32,985	31,976
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,578	2,762
土地	3,152	3,152
その他（純額）	1,750	1,640
有形固定資産合計	7,480	7,555
無形固定資産	872	903
投資その他の資産		
投資有価証券	5,721	6,992
長期前払費用	2,829	2,657
繰延税金資産	746	263
その他	1,197	1,182
貸倒引当金	△488	△488
投資その他の資産合計	10,006	10,608
固定資産合計	18,359	19,067
資産合計	51,344	51,044

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,896	3,594
未払法人税等	542	96
賞与引当金	603	324
役員賞与引当金	130	—
その他	1,550	1,897
流動負債合計	6,723	5,913
固定負債		
退職給付に係る負債	766	772
その他	913	919
固定負債合計	1,679	1,691
負債合計	8,403	7,605
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,228	3,228
利益剰余金	38,183	35,984
自己株式	△4,685	△2,677
株主資本合計	40,007	39,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,717	3,467
退職給付に係る調整累計額	208	156
その他の包括利益累計額合計	2,925	3,623
新株予約権	8	—
純資産合計	42,941	43,439
負債純資産合計	51,344	51,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	13,523	8,476
売上原価	5,568	3,773
売上総利益	7,955	4,703
販売費及び一般管理費	4,068	4,088
営業利益	3,887	615
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	35	69
利用分量配当金	12	10
その他	32	14
営業外収益合計	80	96
営業外費用		
賃貸収入原価	1	1
その他	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	3,965	710
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除却損	2	0
減損損失	—	25
関係会社株式評価損	—	14
特別損失合計	2	40
税金等調整前四半期純利益	3,965	670
法人税、住民税及び事業税	600	74
法人税等調整額	683	160
法人税等合計	1,283	234
四半期純利益	2,681	436
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,681	436

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	2,681	436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	102	749
退職給付に係る調整額	18	△52
その他の包括利益合計	121	697
四半期包括利益	2,803	1,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,803	1,133

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の消却)

当社は、2024年5月10日開催の取締役会決議に基づき、2024年5月27日付で、自己株式1,500,000株の消却を実施しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において利益剰余金および自己株式2,007百万円がそれぞれ減少しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	359百万円	448百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)および当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

当社グループは、遊技機事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。